

環境事業協会SDGs未来構想シンポジウム

食と農から未来を変える SDGsアクション



SDGs時代、生きるに直結した「食」と
それをつくりだす「農」をテーマに社会課題解決の糸口を探ります。
食品ロス削減、子ども食堂、農福連携など
解決に取り組む具体的なアクションを学び、
大阪のサステナブルな未来につなげていきましょう。

開催日時 **3/20 土祝** 14:00~17:00
(13:30開場)

参加方法 来場とオンライン (Zoom Webinar)

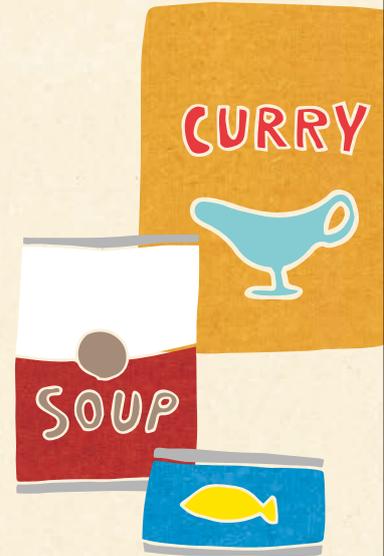
開催会場 おおさかATCグリーンエコプラザ セミナールーム
大阪市住之江区南港北2丁目1-10
ATC[アジア太平洋トレードセンター]・ITM棟11階西側
(OsakaMetro「トレードセンター前」から直結)

対象 どなたでも **パソコン文字通訳あり**

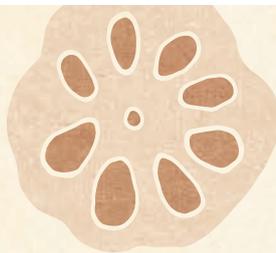
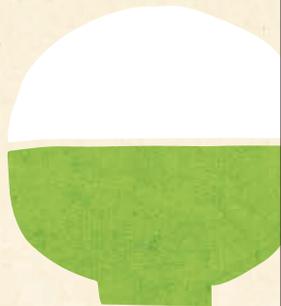
定員 会場:30名 オンライン:100名

※イベント内容、申込方法など詳しくは裏面をご覧ください。

※「マスク着用」「体温測定」「手指消毒」等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力をお願いします。また、イベントが中止または延期となる場合があります。



参加費
無料



「食」から未来へ!
**協会SDGs
マルシェmini**
大阪産の海産物・農産物、
オーガニック食材を展示販売



食と農から未来を変えるSDGsアクション

開催日時 2021 **3/20** **土祝** 14:00~17:00
(13:30開場)

参加方法 来場とオンライン (Zoom Webinar)

開催会場 おおさかATCグリーンエコプラザ

プログラム詳細

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



開会挨拶 高木 亨 (一財) 環境事業協会 理事長

基調講演 食と農の未来を変えるためのアクション

～SDGsを食品ロス、地産地消、温暖化など世界的視野から～

浅利 美鈴 [京都大学 大学院地球環境学堂 准教授・(一財) 環境事業協会理事]

身近な食卓は、様々な世界的課題につながり、SDGsにも多く盛り込まれています。世界を変え、未来を変えるアクションを、今日からみんなで始めましょう！



事例発表

1. もったいないをありがとうに 子ども食堂フードバンク



松岡 賢司 [生活協同組合おおさかパルコープ 理事]

貧困に目を背けないでほしい、そんな思いで始めたフードバンク活動。食品ロスを生活困窮者支援につなげる仕組みと現場から伝わる支援の広がりについて発表。



2. 商業施設における 社会貢献活動について

松井 大輔 [大和リース株式会社 BRANCH福岡下原 支配人]

土地活用のプロフェッショナル企業として、地域課題解決に取り組むNPO法人であるアクションタウンラボとフードバンク福岡との協働による取り組み事例を発表。



3. 障害者が主役、農福連携のビジネスモデル

谷 健次 [ハートランド株式会社 代表取締役社長]

戦前から積極的に障害者雇用に取り組んできたココヨの特例子会社。特例子会社としては日本で第一号の農業生産法人。野菜の水耕栽培を通して農福連携を推進する活動について発表。



4. 人と農、福祉をつなぐ Green Good Linkの取り組み

空庭みよこ [6次産業化プランナー]

生産者と消費者を「農」でつなげる大阪ぐりぐりマルシェの運営や多様化する6次産業を福祉の視点でコーディネートする新しい取り組みについて発表。



登壇者によるパネルディスカッション

テーマ 大阪で食と農、人々をSDGs視点でつなげる事業構想ってなに？

ファシリテーター 浅利 美鈴 パネラー 事例発表者・高木 亨



申込フォーム

右の二次元バーコードからWebにアクセスしてください。

お申し込みの際は【個人情報に関する取り扱いについて】をご確認の上お申し込みください。



【お問い合わせ】

(一財) 環境事業協会 普及啓発課「SDGsシンポジウム」係

TEL06-6121-6407 (月～金 9:00～17:30)